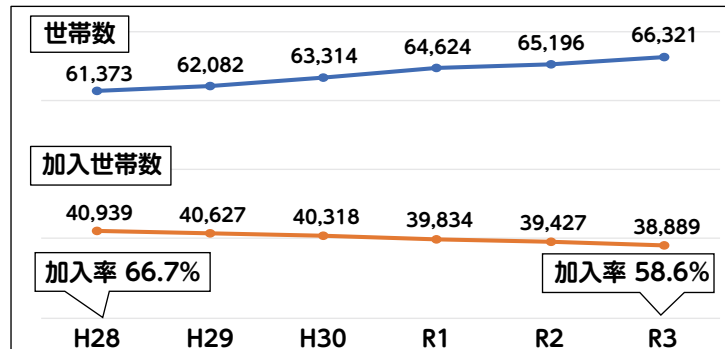


# ＼みんなで考えよう／ 開かれた自治会(町内会)運営

住み慣れた地域で暮らし続けるために、皆さんはどのような取組が必要だと思われますか？  
地域で安心して気持ちよく暮らしていくためには、子どもや高齢者の見守り、ごみ集積所の維持管理、清掃活動、広報物の回覧、防災活動や親睦行事など、自治会の活動が必要不可欠です。  
「開かれた自治会運営のあり方」や「自治会活動の見直し」について考えてみましょう。

【世帯数・自治会加入世帯数・加入率の推移】



## 自治会加入の現状

出雲市では、近年、世帯数が増加していますが、「メリットがない」「加入しなくても困らない」などの理由により、新しい世帯の自治会加入が進んでいないため、自治会加入率は年々低下しています。また、役が担えないという理由による高齢者世帯の脱退も大きな課題となっています。

## 自治会運営のポイント

自治会の加入を促進したり、脱退防止を図るためには、地域の皆さんの自治会運営への理解が必要です。そのためには、誰にでも開かれた、分かりやすい運営をすることが大切です。

### ●規約を作りましょう！

ルールを明文化しておくことで、新しく加入する人に自治会運営を分かりやすく説明することができ、役員も明確なルールに基づいて安心して活動できます。

### ●お金をきちんと管理しましょう！

自治会の収入の大部分を占めるのが「会費」です。会計担当は、「みんなのお金を預かっている」という意識をもって、適正に管理しましょう。年度当初には予算書、決算書を作成して、総会に提案し、議決を得ましょう。

### ●会議を開きましょう！

住民の皆さんの自治会への関心と信頼を高めるためにも、

少なくとも年に1度は、全員に参加を呼び掛ける「総会」を開きましょう。



### ●引継書を作りましょう！

「役員が回ってきたら大変そう…」「役員になると何をさせられるか分からない…」という不安の声が聞かれます。各役員の仕事を明文化しておけば、引き受ける方も安心です。

### ●仲間を増やそう！

自治会への加入は任意ですが、せっかく同じ町内に住んでいるのだから、自治会に加入して一緒に活動してほしいと思うのは当然のことです。

しかし、「加入するのがあたりまえ」という姿勢では理解が得られにくいので、「安心して暮らすため」「一緒に住みよいまちにするため」に自治会

に加入してもらえよう勧誘しましょう。



### ●国籍や文化の違う方も地域の一員です！

出雲市には外国籍の方が数多く暮らしています。同じ地域の一員ですので、文化や風習、価値観などの違いを認め合いながら、相互理解や交流に努めて、地域の活動にも参加を呼びかけましょう。



▲令和元年12月 伊波野地区自治協会の外国人住民との餅つき交流会の様子



## 自治会の活動内容を見直しましょう！ ～「いまできること」と「これからのこと」～



▲四絡自治協会が実施した  
コロナ禍での防災教室の様子

### コロナ禍での自治会活動

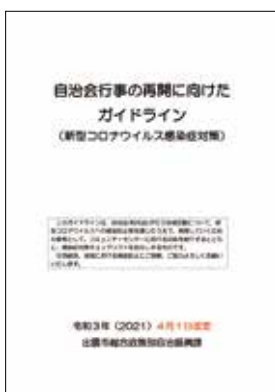
新型コロナウイルス感染症は感染拡大から2年が経過し、私たちの日常生活にも大きな影響を及ぼしています。自治会活動においても、コロナ禍における自治会の会合やイベント実施について、どうしたらよいか迷われている方も多いことと思います。

しかし、自治会活動は、子どもや高齢者の見守り、地域の環境美化や防犯活動など、安全・安心な地域づくりのための重要な役割を担っており、新型コロナウイルス感染症対策を図りつつ、自治会活動を行うことが求められています。

出雲市では、従来の自治会活動を再開するための基本的な感染予防策をまとめた「自治会行事の再開に向けたガイドライン」を作成しています。

ガイドラインには、活動に応じた対策を示しており、感染症対策チェックリストも掲載しています。このガイドラインを参考として、必要とされる自治会活動の実施について検討をお願いします。

ガイドラインはこちら▼



なお、十分な検討・対策を行なったうえで実施したとしても、感染拡大の不安を感じる方は少なくありません。地域住民の皆さんへ「活動の必要性」や「感染対策」について、十分に周知し、理解と協力を得ながら進めてください。

### 活動内容の見直し

出雲市では、今年度、住民のニーズに応えられる自治会づくりを支援するため、「自治会支援アドバイザー事業」を実施しています。

この事業では、モデル地区として3地区を指定し、専門家のアドバイスを受けながら、活動内容の見直しなどに取り組んでいます。

自治会活動は、無理のない範囲で行うことが大切です。参加者が少なくなったり固定化したりしている活動や、地域の実情に合わなくなった活動は、優先順位をつけるなど、みんなで話し合ってみることも必要です。

コロナ禍で思うように活動できない、今だからこそ、自治会の意義や役割を再確認し、自治会運営のあり方について考えてみましょう。



自治会の付き合いは、なんとなくわずらわしいと感じておられるかもしれませんが、日ごろのご近所との付き合いは生活に活気や安心を与えてくれます。

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあるように、災害時に頼りになるのは、地域の絆です。自治会から生まれる地域の絆をみんなで育てましょう。

### 自治協会について

出雲市には、自治会を束ねる、自治協会（振興協議会、区）が組織されています。自治協会は自治会単位では解決できない課題解決を図るなど、重要な役割を担う組織です。

#### ●自治協会の工夫

各自治協会では、行事や役員数、負担金の額を見直すなど、持続可能な会の運営に取り組まれています。

～取組例～

- 一日開催の行事を半日開催とする。
- 文書で済むものは文書を送付し、役員会の開催をできるだけ減らす。
- 自治会から1名選出の役員を、複数自治会から1名の選出とする。
- 高齢者世帯に対し、役員の免除や会費の減免を行っている。

